

基本施策 <2. 交流・ふれあいの促進>

(1) いきいきふれあいサロンへの活動支援

いきいきサロンは、令和2年3月時点23か所で活動されており、それぞれのサロンが特徴をもって企画・運営されています。しかし、サロンによってはお世話される方やボランティアの負担が大きいということから、今後のサロン運営をどうするか課題となっています。地域の高齢化が進む中で、無理のないサロンを継続していくためにどの部分を見直せばよいかなど地域の中で考えていくことが必要になってきます。

地域ふれあい活動助成、レクグッズの無料貸出、職員及びレクリエーションサポーター派遣などを行い、無理のないサロン運営ができるよう活動を支援していきます。

(2) ふれあい会食会の実施

65歳以上のお一人暮らし高齢者を対象に会食会を実施し、参加者同士交流できるような企画を行います。併せて福祉制度の説明、町や社会福祉協議会の行事、事業紹介、職員が生活上の困りごとの相談を受けるなど、その解決と情報収集に努めます。

ふれあい会食会参加者数	(H30) 59名	(H31) 57名	目標	(R2) 60名
-------------	-----------	-----------	----	----------

(※定員あり)

(3) 介護者リフレッシュ事業

在宅又は一部デイサービス等を利用されている家族を介護されている方を対象に、交流とリフレッシュを目的とした事業を行います。

リフレッシュ事業参加者数	(H30) 8名	(H31) 9名	目標	(R2) 15名
--------------	----------	----------	----	----------

(4) 障がい児親子交流事業の実施

心身の発達に気がかりなところがある子どもとその保護者を対象に交流と情報交換を目的としたバスハイクを実施します。昨年度実施した「子どもの発達に関する勉強会」の参加者アンケートの中で、もっと自分の子どもについて理解したい、先生に相談したい、共感できる方と話がしたいという意見をいただきました。今年度も勉強会や交流できる場を設けます。

親子バスハイク参加家族数	(H30) 実施1回 計3家族	(H31) 実施1回 計10家族	目標	(R2) 実施1回 計10家族
子どもの発達勉強会参加者数	(H30) —	(H31) 38名		(R2) 30名